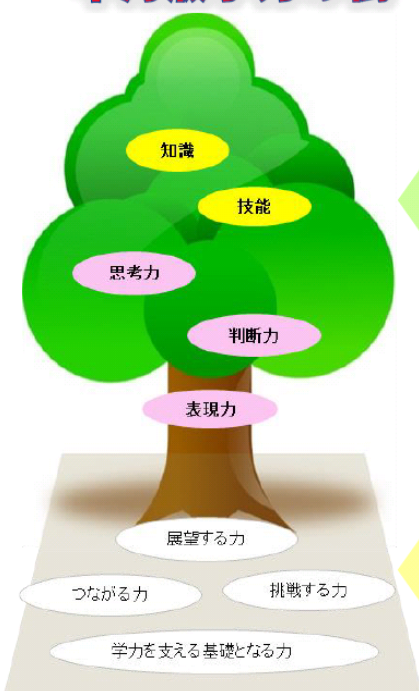


## 中丹の1時間授業スタンダード

過程	指導内容	学習活動	学習形態	指導上の留意点	教材・教具	評価 (評価の観点) (評価方法)
導入	<b>導入の工夫</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学習の見通し（目指す姿）を持てるねらいの提示</li> <li>◆ 考える必然性や活用を意識した課題の設定</li> </ul>		
展開	<b>自力思考(表現)の場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 既習事項を根拠に見通しを持ち、筋道立てて思考する場面の設定</li> <li>◆ 思考を整理・表出するための書く活動の重視</li> <li>◆ 考えを説明するために必要なもの（表・図等）の活用</li> </ul>		
	<b>考えを伝え合い、学び合う場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 根拠となる既習事項や理由を明らかにし、筋道立てて説明する活動の重視</li> <li>◆ 課題解決の過程において必要な考え方の理解を深める発問や切り返しの工夫</li> </ul>		
	<b>学びを確かなものにする場の設定</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学びを活かす活動（練習問題や解決過程の説明）の設定</li> <li>◆ 授業のねらいに合わせた活動内容・学習形態の工夫</li> <li>◆ 知識及び技能を習得したことを自覚させる活動の設定</li> </ul>		
まとめ	<b>振り返りの質の向上</b>			<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 解決の過程を振り返り、新たな気づきを整理して、書きまとめる活動の設定</li> <li>◆ 自分の思考や行動を客観的に把握し認識する活動の工夫</li> </ul>		
<b>指導者による授業評価</b> 本時のねらいに対する児童生徒の理解の状況を、授業中の様子や振り返りの記述、ワークシート等から確認する。						

### 中丹版学力の樹



#### 見える学力(認知能力)

- ・ 中丹版学力の樹における「葉」や「幹」の部分にあたる。
- ・ 質の高い学力の、「知識・技能」や「思考力・判断力・表現力等」を示す。
- ・ 各種学力調査等を活用して把握することができる。いわゆる「点数学力」。

#### 見えない学力(非認知能力)

- ・ 中丹版学力の樹における「根」の部分にあたる。
- ・ 質の高い学力の、「主体的に学習に取り組む意欲・態度」を示す。
- ・ 外からはなかなか見えない「うちに秘めたものすべて」であり、子どもたち一人一人のよさや個性。
- ・ 見える「葉」や「幹」を成長させるためには、「根」にも十分な栄養を補い、樹全体を成長させることが必要。

※ 中丹版学力の樹は、大阪大学大学院 志水宏吉教授の著書を参考にしています。